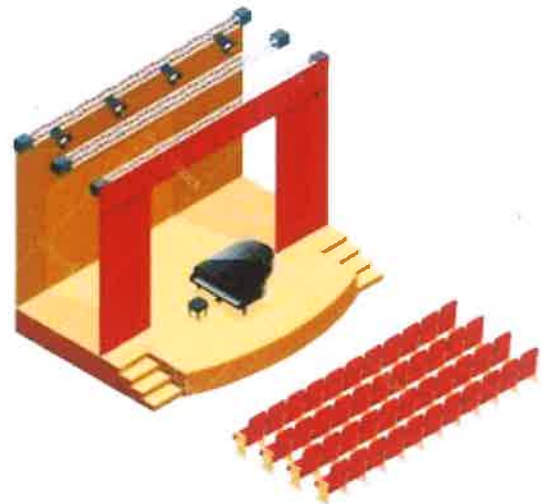


客席から見たステージは、  
テレビやパソコン画面のように枠の中が全てです。  
しかし舞台は様々な仕掛けと労力があるんです。



平らな舞台に段差(ひな壇・山台)を組んで見通しをよくします。



ハラマチで使っているひな壇は  
沼津市民文化センターの物と  
同じメーカー品なので  
子供も職員も馴染みがあります



とはいえ、  
会場が広く部品も多いので、  
図面通りに組み立てるには  
結構な労力が必要です (；\_ゝA



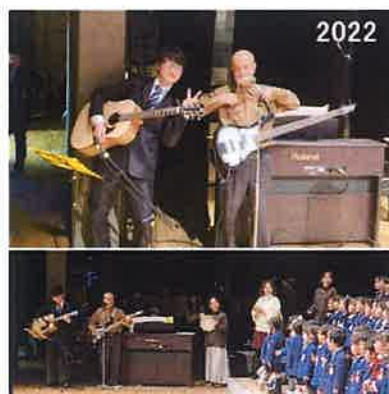
うまく組めると見通しもよく  
お客さんが上から見下ろすような圧力も和らいで  
落ち着いた演奏が出来るようになります。



楽器をリハーサルで決めた位置に並べるため「ばみり」と呼ばれるテープを貼ります。これで幕間に素早くたくさんの楽器をセット出来ます。



たくさんの音源を使う場合それぞれのバランスが難しくなります。ハラマチも電子楽器やマイクをたくさん使うのでマイクの番号など間違えないように気を付けます。ほかにも照明やカーテン開け閉め、上からの釣りモノもあるのでトータルで操作・管理してくれるプロの存在がとても助かります。



沼津市民文化センターでは「エスピーエス たくみ」のメンバーが支えています。

つづく



# ボンチチ 15

1月号

「はらっぱ」をご覧のみなさん、明けましておめでとうございます。  
卒園生の父で川口慶と申します。  
このボンチチでは、書籍やボードゲームの紹介をさせていただいております。  
この連載も15年目になりました。よろしくお願いいたします。

ねないこ だれだ



ねないこだれだ  
お部屋ライトBOOK  
出版社：宝島  
価格：¥3278（税込）

今回紹介するのは、名作ロングセラー絵本「ねないこだれだ」のおばけのお部屋ライトBOOKです。  
「ねないこだれだ」はみなさんご存知だと思います。私自身子どもの時に読みましたし、子ども達にも読み聞かせをした名作中の名作絵本です。  
作者である、せなけいこさんは残念ですが昨年お亡くなりになりました。  
「いやだいやだ」「にんじん」「もじゃもじゃ」「あーんあん」「きれいなほこ」「ふうせんねこ」「ルルちゃんのくつした」「めがねうさぎ」「おばけのてんぷら」など、面白くもあり、また怖くもある絵本の数々。唯一無二の絵本作家さんでした。  
このお部屋ライトBOOKは、2月上旬再販売予定です。

柔らかなシリコン素材と熱くならない LED を採用しているので、お子さまも安心して使えます。入眠前にお部屋ライトを付けておけば、「おぼけの せかいへ とんでいけ」るかも？

**LEDライトだから  
熱くならない!**

**ふにふにのシリコン素材が  
気持ちいい♪**

**キュートな手など  
細かいところまで再現!**

くつろぎ時間の  
テーブルライトに

ベッドサイド  
ライトに

ゆっくり明滅する  
やすらぎモード

ライトがゆっくり明滅するモードです。  
通常点灯モードの状態では徐々に暗動  
をゆるめることでやすらぎモードに切り替  
わります。

素早くチカチカする  
点滅モード

チカチカと明るく瞬きする「おぼけ」の点滅  
モード、やすらぎモードの状態では徐々に暗動  
をゆるると点滅モードに切り替わります。

「おぼけのせかいへ とんでいけ」 発売数量限定 発売日 2020年12月19日

## 倶楽部 ダンケビツテ

倶楽部ダンケビツテは家族向けのボードゲームサークルです。  
今は、コロナ感染症があったため、活動を休止しています。  
活動再開を模索中ですが、最近では原地区センターで月一開催されている  
「みんなの食堂」へボランティアとして参加し、ボードゲームを広げて  
います。

「みんなの食堂」は一般社団法人蓮の森さんが開催している、いわゆる  
子ども食堂です。どなたでも無料で参加でき、一緒に作り一緒に食べ一緒  
に遊ぶ会です。

毎月最終日曜日 10:00～ 原地区センターで開催予定です。

今後もこのページで書籍やボードゲームの紹介をしていきます。  
よろしく願いいたします。

「ルーズな境界」

in the shade of family tree

木陰の物語



団 士郎

最近、境界のことが気になって仕方がない。理由はしばしば耳にする事件のことだ。



はしまりは振り込め詐欺。

なりすましの他人がスマホに侵入してくる。



こんなことが起きるのは通信環境が完全に個人のモノになったからだ。



「家の電話」はなくなってしまう、電話が共用のモノではなくなった。



そこにスルリと忍び込んでくる様々な誘い。



玄関の戸締まりで守られていた夜間の家の内側も、境界を失ってしまった。



そして先ず、情報に疎い高齢者が狙われた。



次にぼんやり育ったイージーな若者が餌食になる。



やわな境界には強引な者、厚かましい者が踏み込んでくる。



結果、境界線を引く力の弱い者は、被害者にも加害者にもなってしまう。



家族のノーチェックとはこういうことだ。



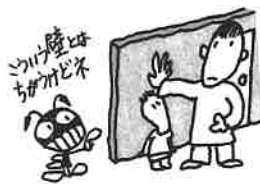
これを読んでいる人は、家族や自分自身を被害から守る事だけ考えていては不十分だ。



侵入されやすさは、わが子を加害者にもしてしまう。



そうしたくなければわが家の境界のあり方を強く意識しておくことだ。



最近耳にしたことだが、小学生の息子が知人の家から数回に分けて、何十万円も盗んでいたという。





事件がどうこの前に、  
そんな高額が頻回に  
盗まれるって  
どういことだろう。

被害者は悪くないでは済まされない。



その家の金の管理、  
用心はどうなって  
いるのだろう。

無論、速やかに  
弁済と謝罪は行われた  
そうだが。



子どもは生活に困って  
盗んだわけではない。  
カードゲームを買ったり、  
友達に金を配ったり  
していたらしい。

多額の金を受け取っていた  
周囲の子の親は、  
わが子の金遣いに  
気がつかなかったのだろうか？



実は今、こんな話があるよ。  
日本中に起きて  
いるようだ。

盗みをはじめ、様々な境界侵入が  
あちこちに目立ちだしている。



善悪の話ではなく、  
家族がこんな状況に  
あるのだ。



プライバシーを  
敏感に語る社会の  
作り出した今が  
これである。

口先ばかりの  
個人情報保護や  
安全、安心の話は危うい。



それは近年始まったこと  
ではなく、昔から子育ての中で  
引き継がれてきた生活習慣。

守りたいものためには  
もっとしておくべき事  
がある。



子どもの気配や  
振るまいの  
変化に気付くのも  
子育てである。



新登場のモノや言葉に  
浮かれるのは  
ほどほどにして



プライバシーを本当に  
守れる家族になって  
おくのは大切だ。



その時、重要なのが  
「内外の境界」感覚である。



まずはこんな見方をする  
ところから暮らしの点検を  
してみよう。



“木陰の物語”  
広がる! プロジェクト



<https://honblock.net/kokage/>

「木陰の物語」を読んだ感想や、  
あなた自身の物語をお寄せください。

「 分ろうと 」

in the shade of family tree

# 木陰の物語



団 士郎

「家族理解」をずっと言っている。

理解が大きな支援になることは、  
逆の出来事が想像できたら  
分かるはずだ。

「誰も分かってくれない」



そんな捨て台詞で  
自暴自棄の  
事件を起こした人が  
少なくない。



追い詰められた人が  
そう考えてしまうのは  
想像できるだろう。

それを赤の他人が  
「人間なんて結局は一人だ」

「何を甘いことを...」  
などと訳知りな事を  
言っただけじゃない。



「誰も聞いて  
くれなかった  
じゃないか！」

思春期の青年達が  
そんな風に思ったり、  
引きこもったり、

誰かに解って欲しい、  
理解してもらいたい欲望は  
世の中に溢れている。



誰にでも、  
語りたい事情の  
物語はある。



それは不運に  
見舞われた  
人だけの話ではない。



長年、対人援助サービスの  
現場で仕事をしてきた。

そこまでの経緯を、  
誰かが知ってくれて  
いるから頑張れる。



そして相手の役に立つ一番は  
結局「理解」だと思った。



そのために誰にでも出来る、  
やり方があると思った。



それがジェノグラムを使った  
面接だ。  
(ジェノグラムは家族関係図)



家族関係の描き方は、  
ごく基本的な  
ところだけ知っていればよい。



正確に描くことより、  
使い方の問題なのだから。



人は先ず  
困っている話や  
苦しんでいる内容を  
語る。

そこで早々に、  
アドバイスと称して  
一般的(専門的?)  
なことを解説するのは  
効果がない。



そんな上から目線の  
発言を喜ぶ人は少数だ。

しばらく訴えを聞いた後、  
白紙を一枚用意して、

「初めて聞くお話なので、  
ご家族のことも  
少し教えて下さい」



聞きながら相手の前で  
ジェノグラムを描いていく。



これかなせ  
有益かという点、  
話を聞きながら  
相手の前で描くのが  
正確である。



不確かなところは、  
確かめながら描けばよい。



ここでは訴えに  
ついての  
診断や解釈はしない。

本人と家族が問題の渦中で  
どのように暮らしているのか、



家族の関係、  
問題との関わり合いに  
焦点を当てる。



多くの問題は関係の中で、  
悩んだり苦しんだりされている。



「誰も自分のことなど  
分かってくれない!」



訴えなくなるのは、  
家族の関係が断たれたように  
感じてしまった時だ。



そこに先ず理解したい  
という姿勢で向き合う。



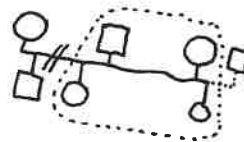
突然、味方や理解者に  
なるのではない。  
そんな上滑りなものが  
支えになるはずがない。



相手のことを未だ知らないから  
教えてほしい、  
そう伝えて向き合う。



複雑な事情や言い分が  
あるようなら、  
分かるまで  
礼儀正しく聞く。



人は分かってくれる人に  
支えられるのと同じくらい  
分かるうとしてくれる人にも  
支えられるものだ。



“木陰の物語”  
広がる! プロジェクト



<https://honblock.net/kokage/>  
「木陰の物語」を読んだ感想や、  
あなた自身の物語をお寄せください。



はらっぱをご覧の皆さんこんにちは。  
自家焙煎珈琲屋花野子の齋藤大地と申します。

新年明けましておめでとうございます。

年末年始と沢山の方に珈琲を飲んで頂きこの上無い幸せでございます。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。

今回は珈琲の淹れ方(ホット)をご紹介します。  
再現性高く珈琲を淹れるには、【計る】のが重要です。

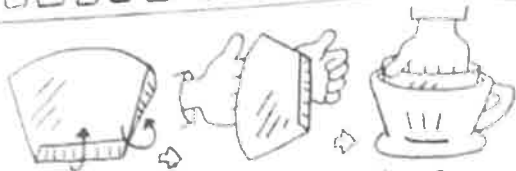
豆の分量、蒸らしの時間、お湯の温度、抽出量。

この4つを毎回計る事で美味しい珈琲が安定してドリップ出来ます。

花野子では1杯15g お湯の温度 83~85度 抽出量130cc 蒸らし30秒  
(2杯の場合は15g×2×0.8=24g 抽出量260cc)

毎回計るってめんどくさいと思いますが、このポイントを最低限抑える事で、  
ご自宅でも美味しい珈琲が飲めますので、  
下の絵も参考にしてぜひやってみてください。

## ポットドリップ抽出法



3紙の側面をドリッパーに折り底の部分 コットする様 密着させる。  
裏側面と逆方向 形をならす。 コーヒーを入れて 平らにする。

### 抽出の3つのポイント

● 82~83度の適温のお湯を使う。  
温度が低すぎても高すぎても  
コーヒーのうま味が充分抽出できません。

● 空気が混ざらない様注ぐ。  
なるべく細く(2~3ミリ)均一の  
太さで注ぐ。湯に空気が  
混ざりすぎると充分なむらしが  
できません。



● 「の」の字を描く様に...  
中心から外へ「の」字を  
描くよう注ぐ。湯の方まで  
注がえよう注意!

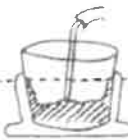
※ 以上のポイントは1回目の注湯から  
何回目かの最後の注湯まで  
同じです。

1回目の注湯 3つのポイントに注意して1回目の注湯をします。細くゆくの注ぎ 全体にしみ渡ったところで止めます。(目安はサバに数滴おちる程度の量)



### 2回目以降の注湯

● コーヒーの表面がふくらみます。  
20~30秒おらし、  
2回目の注湯をします。



ドリッパーの上のお湯がおちる前に次の注湯をして下さい。

注湯の際、粉の縁を上げすぎない様に注意して下さい。  
★ 以上をくり返し抽出量にする。

### 加温

● サバのコーヒーが  
予定の抽出量に達したら  
ドリッパーを外しサバの  
外側の水気をふき 素早く  
加熱して下さい。



新鮮なコーヒー

## 花野子が出るまでの物語 その4

翌年お正月 2001年を迎えた。

年賀状の中に、中学時代からの恩師からの1枚が目にとまった。

毎年先生は御自分で版画をされ詩も彫られている。

2001年の年賀状は、「バッハの夜明け・・・」とあった。

「運命だ！バッハさんに決めよう！でもさてどうやって？」

「ねえお父さん、バッハさんにいちかばちか電話してみたら？」

何日も電話をためらっていた清一。

だが、意を決して電話をした。

ときどきしながら「田口社長をお願いします。」

すると偶然にも、社長に代わっていただくことができ

「じゃあ一度来てみなさい」と、幸運にも1本の電話で面接の運びとなった。

この時の清一は多分、一生のなかでもかなりの嬉しさだったに違いない。

いよいよ面接の日、久々のスーツに着替え、

不安を抱えながらも意気揚々と東京へ向った。

つづく・・・



花野子インスタ



ご注文は電話でも ☎969-2830





みなさんこんにちは。

こどものとも社の高林信作と申します。

原町幼稚園さんに福音館書店の月刊絵本『こどものとも』をお届けしています。

ここでは、人類史の話に基づき、書籍や絵本の紹介をしていきたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今年は蛇年ですね。ということで今回はへびが出てくる絵本を紹介したいと思います。

### 『へびながすぎる』



なが〜い「ひも？」で動物たちが、なわとびをしたり、ターザンごっこをしたり、プールを作って遊んだり、これはひも？縄？長すぎるために誰もなかなか気がつかない、最後にさらなるどんでん返しが待っています

作：ふくながじゅんぺい

出版社：こぐま社 定価：1,540円（税込）

### 『ハナはへびがすき』



ハナはいきものが好き。なかでもへびが一番好き。でも、ハナが好きないきものは気持ち悪いとか、へんとか言われる。それでも「やっぱりみんなに好きになってもらいたい！」と思ったハナは、ある日、みんなのところへいきものをつれていくことにしたのです。作者の鋭い感性や豊かな感受性が内容や絵から伝わってきます。

「第14回ようちえん絵本大賞」受賞

作：蟹江 杏

出版社：福音館書店 定価：1,540円（税込）

### 『ちよろりんのすてきなセーター』



幼いころに読んでもらった、私の大好きな絵本です。

へびはトカゲから進化したという説もありますので今回選ばせていただきました。

洋品店のガラス窓に飾られた暖かそうなセーターをみつけたちよろりんは、おこづかいの貯金とおじいちゃんのお手伝いをしてもらったお金を持ってセーターを買いに行きます。ところが、、、ちよろりん、お母さん、おじいちゃん、お店のおばさん、登場人物すべてが強くて優しい、とっても素敵な絵本です。

降矢なな さく・え

出版社：福音館書店

定価：1,200円（税込）

# 子育てのアレコレにまつわる つぶやき⑩『多様性の尊重？』



京都光華女子大学心理学科 大谷多加志

今回も引き続き昨年 11 月に開催された対人援助学会でのワークショップでの話題についてのお話です。大阪市の公立中学校の先生である山本昌平さん(現在は大阪市総合教育センター所属)が報告してくださった、公立中学校での e-スポーツ大会についてです。

中学校で e-スポーツ大会を開催しようと考えた動機はいろいろあるようですが、その理由のひとつが“活躍できる舞台”を付け加えようという意図だったそうです。一般的に学校において子どもたちが脚光を浴びるのは、勉強ができるとか、運動ができるとか、文科系の部活などで賞を取るなど、学業やスポーツ、芸術などの分野で秀でた力を示した時が多いでしょう。一方で、子どもたちには、漫画やアニメなどサブカルチャーに詳しい子もいれば、ゲームが得意な子、裏方仕事で得意な子もいます。学校により幅広い子どもたちが“活躍できる機会”を作ること、それがひとつの目的であったそうです。実際、普段は控えめで前に出るタイプでなかった子が e-スポーツ大会の司会に立候補し、『行くぞおまえらー！』と声を挙げて場を沸かせたり、音響や照明などの裏方仕事で活躍する子もいたようです。

考えてみれば、幼稚園や保育園では、運動が得意な子や絵が上手な子だけでなく、『昆虫博士』や『折紙の達人』『かくれんぼ名人』もいて、子どもたちがそれぞれ個性を発揮し、それが仲間にも大人にも認められていました。そうした豊かさは、大人への成長の過程の中で必然的に失われていたのかもしれない。

同じ中学校での取り組みで、地域の会合に中学生も参加し、意見を述べるというものがあるそうです。その中である中学生は「SDGs」への疑念を口にしました。コンビニのレジ袋をエコバックにしたことで本当に SDGs は実現できるのか、という意見です。これはきちんと核心を突いた意見だと思いました。大人たちは SDGs、多様性の尊重…などさまざまな価値観を提示し、その実現に向けたアクションを起こします。しかし子どもたちはどこかでそれが「建前」であることを見透かし、大人たちへの疑念を抱いているように思えます。多様性の尊重を謳いながらも多様性が保障されない形になっている学校はその最たるものかもしれません。建前でなく子どもと向き合える大人がいるために、私たちはどうすればよいのか、考える機会をもったワークショップでした。



# リトルスター

新しい年の始まり、気持ちも引き締まり、なんだかたくましく感じられる子どもたち。今月も楽しい行事、イベントと一緒に過ごし、英語に触れていただく機会を楽しんでいただけたら嬉しいです。  
今月もよろしくお願い致します。

## 1月の英語テーマ

### Sports (スポーツ)

寒さに負けず、体を動かしながら楽しめるアクティビティやアクションを保育生活の中に取り入れていきます！

例：Can you play ( )?  
I can ( ), I can not ( )  
what's your favourite sports? and  
what do you like to do?

お正月はどのようにお過ごし  
でしたか？



## travel in the world 世界のNew Years

日本では大みそかにカウントダウンをし、除夜の鐘を聞いたりお正月になると、おせちを食べたり、遊んだり、家族や友達と過ごします。

世界の国々はどのような (New Year) を楽しむかをご紹介します！



## ドイツの大みそか

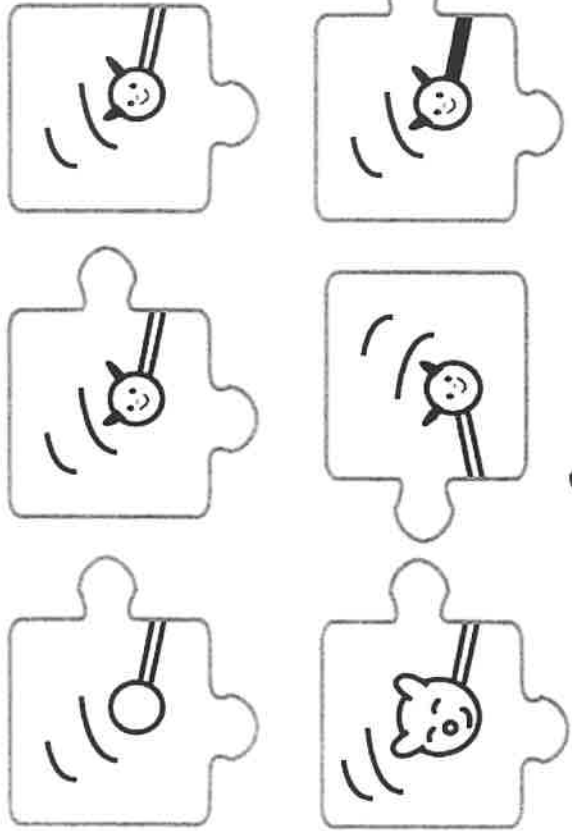
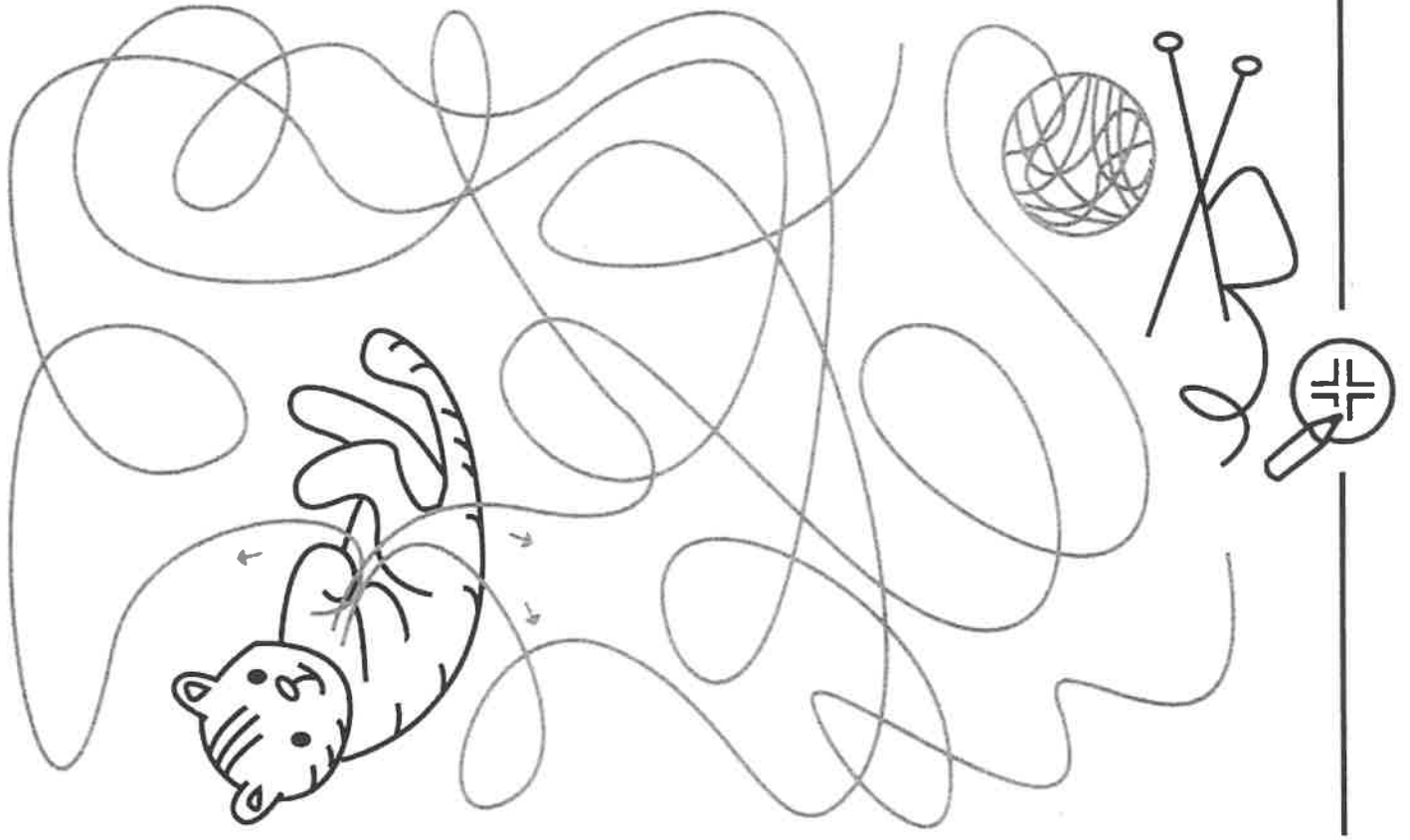
各地の大きな都市では年越しイベントが行われます。ミカ先生は家族や友達と集まってパーティをします。ボードゲームをしたり、おいしいものを食べたりもします。日本の花火大会のような花火が打ち上げられます。とても大きな音の花火です。邪気を払うことを意味しとてもうるさいようです。

## ★ 課外英語教室 ★ 体験クラスご参加ください

毎週 火・木曜日  
対象：年少さんから年長さん  
1回コース ¥5,000 (税込み)  
※テキスト代別途



リトルスターへのお問い合わせはLineまたはHPまで  
<https://www.lscollge.net/>  
お気軽にご連絡ください





# 9 HIKARU

vol 33

## さいになりました。

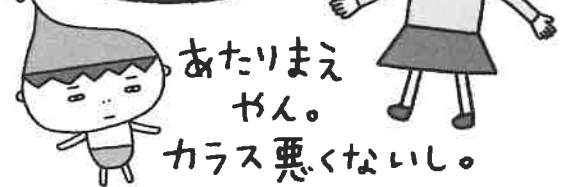
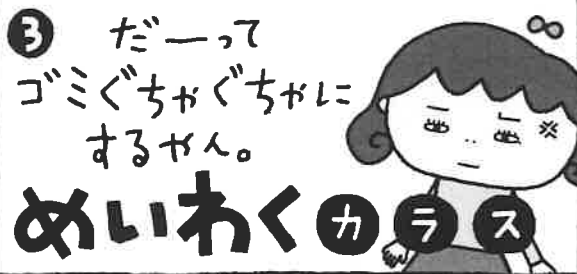
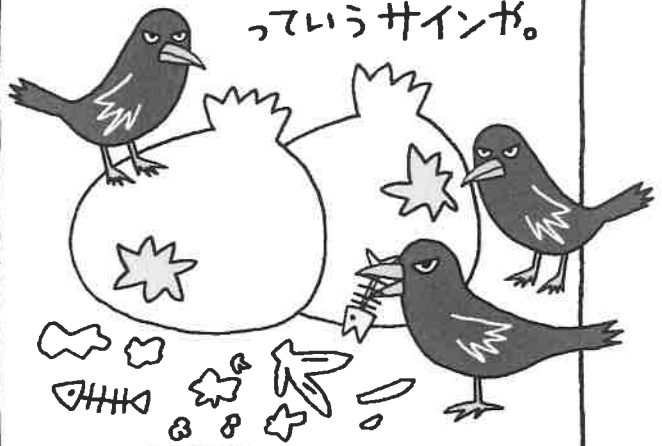
① カアアアア  
カアアア  
ゴミの日

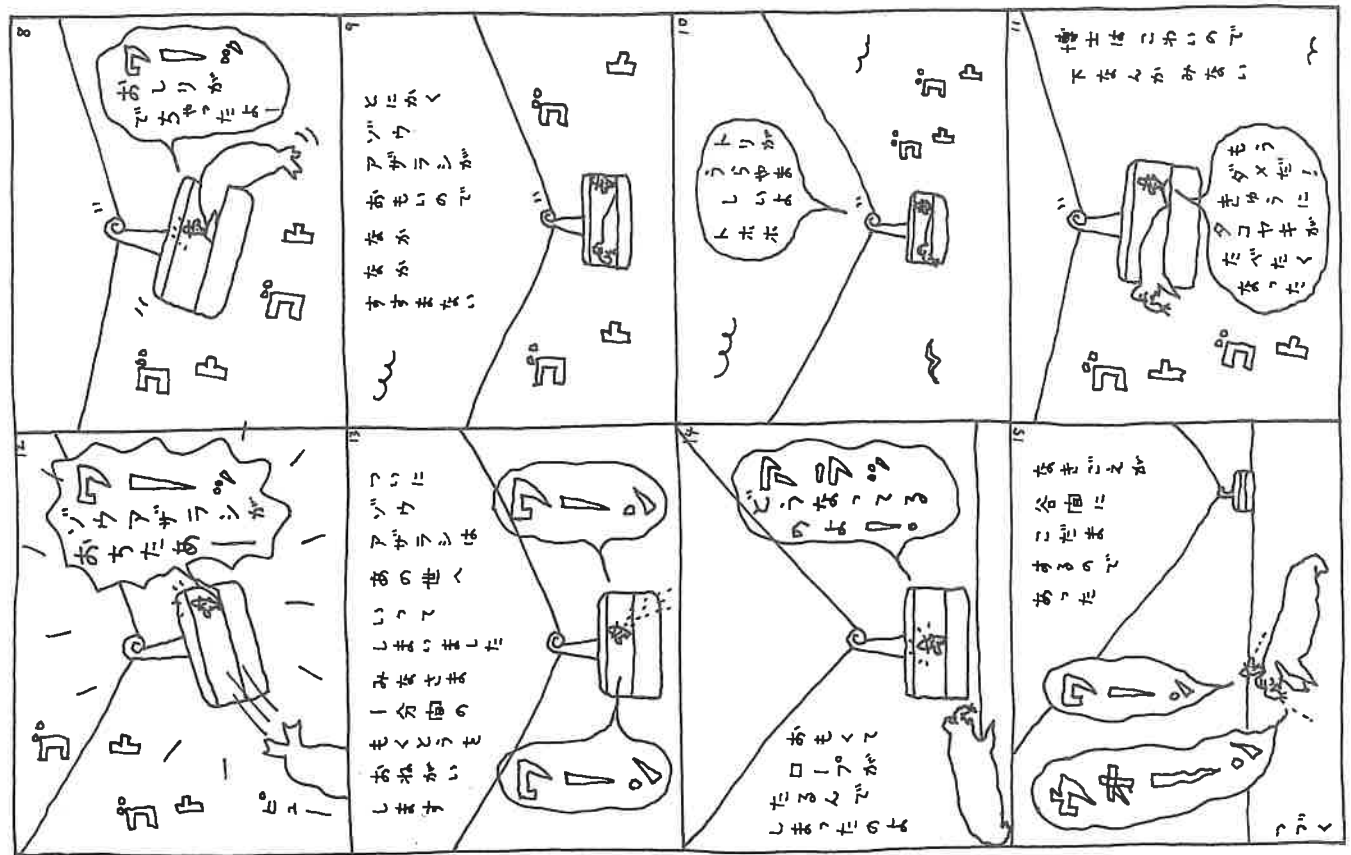
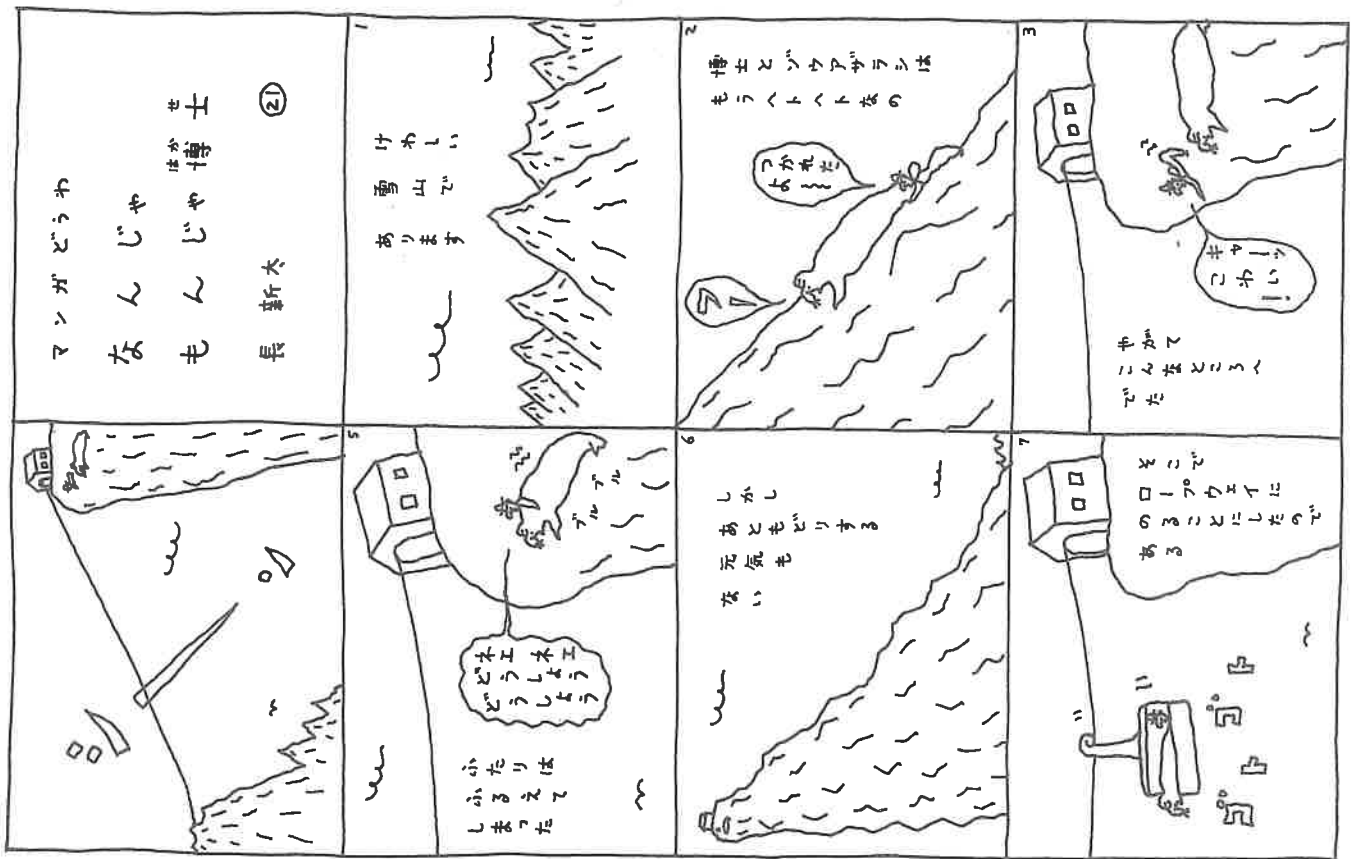


あれはカラスが ⑤  
ごはんを  
食べてるんであって  
ゴミをぐちゃぐちゃに  
してるわけじゃないで!



⑥  
ゴミがぐちゃぐちゃ  
||  
カラス生きています!!  
っていうサインが。





ロープウェイについて、下をみるとこわい。ふとつた人がいっぱいおっているよ、ふるまってしまう。ブルブルブル



# 音楽会感想特集



原町幼稚園の音楽会、どんな感じなんだろうとわくわくしながら観覧させていただきました。ひと言で言うと、「音楽会のイメージが変わった！！」です。大きなホールに制服の子どもたち。てっきりよくある発表会を想像していたからです。オープニングから「おやっ！？」「なんだか楽しそう♪」となり、そこには良い意味でいつも通りの自然体の子どもたちの姿。まさに「遊び」の様子を見ている気分でした。

きっと園での練習も「練習」ではなく音楽あそびを通して「楽しんでた」んだろうなと思いました。そして、何よりこの「遊び」をしつかりと今日の「発表」という場に持ってくるように準備をした先生方の保育力と技術に感動しました。お客さんに魅せる場・・・

だけど、根本の楽しむ中でどうしたら良いかが綿密に計算されていて。なおかつ先生方自身も思いっきり楽しんでいる姿に、なんて素晴らしい先生方なんだろうと改めて感じました！！練習ばかり、完璧を求めるとなると嫌になってしまう子もいる中、絶妙なバランスで一緒に楽しんできたことが伝わりました。

あたたかくて、たのしくて、こんな音楽会があったのかー！！と驚きました。

来年はわが子がどんな遊びをしてくれるのか今からとっても楽しみにになりました！！

★インスタの準備の様子（前日の）もわくわくして息子と何度も見ました。予告みたいで楽しかったです！

あけましておめでとうございます🎉

今年もよろしくお願いいたします。

さて、今回は12月に行われた「うたおうあそぼう音楽会」の感想特集となります。大きな舞台での音楽会は他ではなかなか経験できないことだと思います。きっとおうちでもドキドキワクワクいろいろなストーリーがあったかと思います。そういったことを振り返りながら、ぜひ一緒にご覧下さい。

職員一同いただいた感想は全て読ませて頂きました。ありがとうございました。

音楽会お疲れさまでした！

緊張をあまり感じず、楽しくノリノリで参加できていたと思います！歌ってクルクル回ってカスタネットを大きく鳴らし、ポーズしている姿、かわいかったです🥰

練習の段階から、お家に帰ると歌ってくれたり、ここはこうやって手をつけて歌うんだよ〜とポーズをやって見せてくれたり、教えてくれたり楽しんで活動してる様子が伝わっていました。家でも車の中でもお風呂でも家族と一緒に歌ったり、エアークスタネットで、いろんな単語を言っては手を叩いて遊んだりもしていました♪もともと歌やダンス、楽器が好きな子なので、好きな活動ではありますが、さらに音楽って楽しい♪好き❤️って気持ちが増したんじゃないかな〜と思います！

年長や年中さんの様子も見たことで、来年はどんな楽器ができるかな〜とワクワク楽しみも膨らんだのではないかなと思います🥰

年中になるとぐーんと成長してあんなにも楽器を使ってできるだな〜と感心しつつ、1年後がもうすでに楽しみにになりました🥰

そして、年長さんの、暗幕が開いた時のバックショットと影の感じが最高にかっこよかったです🥰最後はウルウルしちゃいました🥰

エンディングのすまいる、家でもよく歌っていて、両手でほっぺだよってポーズを教えてもらっていました！全員でポーズ、あったかい気持ちになりましたし、なによりみーんな可愛かったです🥰

先生方、たくさんの準備や練習、素敵な本番、本当にお疲れさまでした&ありがとうございました！！

今年の音楽会も、去年からまた子供達の成長が感じられるとても素晴らしいものでした。ありがとうございました。

実は家庭でも音楽に触れてもらおうと思い、色々と楽器などを触らせようとしたのですが、ほぼ興味を示してくれないような息子でした。しかし音楽会の楽器選びでは自らやりたい楽器を選び、挑戦する意欲を示したということをお聞きした時、とても驚きました。

本日の園長先生のお話を聞いていても、やはり子供達に音楽を「させる」のではなく子供達自身が音楽を楽しみたい！という意思を自ら持てるような環境が大事なのだなどと改めて実感しました。

いつも思うのですが、子供達の自主性や挑戦する気持ちを引き出させて下さる園の先生方のご指導には本当に頭が上がりません。(家庭でもそのような指導ができるよう見習いたいものです笑。)

また、これも園長先生のお話なのですが、「音楽は「楽(らく)」ではないもの、だが、壁を乗り越えて目標を達成できると、とても「楽(たの)しいものだ。」というお言葉もとても印象に残りました。

(※↑園長先生の言葉がこの通りではないかもしれませんが、すみません。)

年中さんも今回、初めて触る楽器が多かったと思うのですが、どのように弾くのかも手探りな状態から、この短期間でステージに上がれるようになるまでの過程は決して子供達も先生方も楽なものでは無かったと思います。しかし今日、本番での子供達の堂々としたパフォーマンスは本当に感動的なものでしたし、子供もとても楽しかった、と満足してたようでした。

今回のような成功体験はこれからの子供達の糧になると思いますし、これからも音楽に限らず、色々なことに自ら挑戦し、乗り越えていけるよう子供には成長して行って欲しいものです。

今後も変わらぬご指導をよろしくお願いします。

「原町幼稚園の音楽会は市民文化センターで行うんです。」と職場に話をしたところ、ビックリしていました。3年間当たり前のように、使わせていただきましたが、子ども達のがびのびと表現する機会と場所を提供していただき感謝しています。

本番に向けてワクワクしている気持ちを抑えられない息子は、とてもキラキラしていました。3年間という時間の中で、息子は音楽をより好きになり、楽しむ心を2倍にも3倍にもしていったんだと思います。うさぎ組の時に音楽会に参加しているお姉ちゃんを見て、「ずるい。」と言っていた息子はそれ以上かも知れませんが笑

これから小学生になる息子には、たくさんの経験をする中で、自分の考えやプラスの気持ちを臆せずに表現できる子に育ててほしいと思っていて、その素地を原町幼稚園での音楽会で育ててもらったと思っています。ありがとうございます。最後になりますが、息子にとっても、親にとってもキラキラした思い出をありがとうございました。

感動の嵐をありがとう!!息子たちへ、幼稚園のお友達へ…そして、何より先生方へお伝えしたい気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

兄弟揃っての音楽会は、今年が最初で最後。思い出しながら感想を書いている今でも涙が出てきます。

年少の息子は、とにかく歌が大好き。常に大音量で歌を歌っています。泣きながら「ごめんさい。」をした直後にも鼻歌を歌って親の気分を逆撫でしてくれるほどです。実に自由でおおらかな息子、そんな息子が舞台上立って肩で息をしながら歌っている姿に笑いが込み上げてきました。必死な顔!!大舞台で頑張ってる姿に安心しつつ、癒やされ、笑わせてもらいました。

年長の息子が歌が大好き。性格なのか、正確に歌わないと気が済まないようで歌詞を間違えると戻ってやり直す始末。同じフレーズを何度も聞かされる親の気持ちは放置されていました。そんな息子が「♪The Greatest Show 知ってる?すぐカッコいいんだよ!!」と興奮して帰ってきたのを覚えています。「GREATEST SHOWMAN」という映画があることを伝えたら観たい!!となり、一緒に鑑賞。息子の理解が追いついていないのは当然だろうけれど、世界観を感じ取り、幼稚園で教わった「This is Me これが私!」という強いメッセージを清々しい表情で伝えてくれました。本番は本当にかっこよかったです。年長ともなると子どもたち同様、親同士も付き合い方に深みがあるので、息子たち、娘たちの魅力をつぶり観ることができて本当に感動しました。

息子には楽器の持ち手が外れてしまうアクシデントがありましたが、突発的なものへの対応力を養う良い機会になったと思いき、あのアクシデントには大感謝です。そして、息子の対応もハナマルだったと思っています。

音楽会を通して音楽を好きになることはさることながら、大きな舞台、眩しいライト…と非日常の空間を体験し、緊張、愉快さ、達成感…と心揺さぶられる貴重な時間を息子たちと共に過ごせて幸せでした。

先生方の日頃の御指導、そして自らも楽しむ姿勢があってこそその音楽会だったと思います。先生方、本当に本当にありがとうございました。お疲れさまでした。

## いつも一緒だよ

2学期に入った頃だったか、1年生のやまもといつくんが、学校におさかなTシャツを着て登校しているって話を耳にした。

いっくんは、歴代園児の中でもいちばん遠い大岡から、うさぎ組を含めて3年4ヶ月通ってくれたのだった。好きなことを見つけてぐぐーっと深くのめり込んでいく性格で、在園中は仏像好きで通っていたわ。（今は折り紙に夢中だって）友だちとの関係も、自分の気持ちや思いついたことをしっかり伝えられて、ときにはクラスのみんなのことを引っ張っていってくれるような存在だった。だから、卒園生の友だちが一人もいない大岡南小に進学していくことには僕らはなんの不安も感じていなかった。

なぜおさかなTシャツを着て登校してるの？

12月にお母さんに来園していただきお話を伺った。一緒に来たいっくんは久しぶりの園庭で在園時とかかわらずパワフルに遊んでいて学校生活も順調に楽しんでいるように見えた。お母さんの話では、学校に行きはじめて、もちろん友だちもできたんだけど、原町幼稚園の仲間ほどの強い繋がりはまだなく、中にはいじめっ子もいて、その理不尽な行動に耐えなくっちゃいけない時もあるって、いっくんも子どもなりにストレスを感じていたらしい。



気持ちが沈んでしまいそうな日には、おさかなTシャツを着ていくことがいっくんの心の支えになっていて「はらまちの仲間と一緒にいる！」というパワーアイテムになっているそうだ。暴力を振るわれても「相手に痛い思いをさせない」と反撃せず弱音も吐かずに通学している様子はお母さんから見たら健気すぎると思えるし、僕は、ほんとうの強さってこれだよなあと感じる。

「はらまちの友だちはとくべつ」と言ってくれるいっくんの気持ちはとても嬉しいし、そんな関係を幼稚園でつくれたことに、ほんとに良かった！と思う。

思い出をチカラにできるマインド…何があればそんな関係をつくっていけるのか…いいときばかりじゃなくなって喧嘩やいざこざもたくさんあっただろうに、単純に「仲良くしてね」なんて上っ面の付き合いでは生まれない本音の関係なんだろうね。

そんなクラス運営をしてくれた先生達にも感謝だし、とても嬉しかったので、サイズが大きくて余っていたTシャツを1枚プレゼントしたよ。Tシャツを着てほしい反面、着なくて済む日がやってくることも期待している。

この話を聞いて、今年の卒園生の顔写真を印刷した年賀状を1年生に送った。みんな仲間を心に宿してがんばってほしいという願いを込めて♪ 園長 鶴谷主一

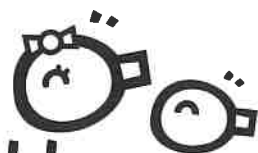


年中お話あそび会「かぐやひめ」  
ミカド役でポクポクするいっくん

☆先週耳にした話。

年中まで在園していたゆいなちゃんがお引っ越しして、大岡の園に通っています。先週おやこんぼwithR.O.C.Oコンサートに来てくれたときに冬羽先生が会場で聞いたそうです。「先日、園で書き初めがあって、好きなことばを自分で決めて書いたんですが、みんなはポケモンやいちごなんて書いている中「はらまち」と書いたそうです」ありがたいね！と冬羽先生と顔を見合わせました。（^o^）/スキ!





# Haramachi

はらまちようちえん編集・発行

410-0312 静岡県沼津市原199の1  
phone 055-966-7338 fax966-7370  
<http://www.haramachi-ki.jp>

CLASS

NAME



おいしいそうないちごのケーキをつくりました

こどものはらっぱ 1月号

くみ／なまえ

---

